

## ●路面電車の新型低床車両の導入について

札幌市では、平成 24 年 4 月に策定した「札幌市路面電車活用計画」に基づき、ことしの春、新型低床車両 1 両を導入します。

この新型低床車両は、創造都市さっぽろの「先進性」や「透明感のある」気候風土「やさしさ」をイメージさせるデザインで、平成 27 年春の路線ループ化までに合計で 3 両導入する予定です。

3 月 18 日に車両を電車事業所に搬入後、工場内での調整を経て 3 月 29 日にメーカーから引き渡しを受け、その後試験走行、運転手の習熟運転などを行い、5 月上旬の運行開始を目指します。また、運行開始直前には、地域と連携したデビューイベントを行う予定です。

新型低床車両の導入や路線のループ化は、洗練されたデザインの車両を通じた景観や便利な交通網の形成により、都心に新たなにぎわいを生み出します。札幌市では、そうした特性を生かし、魅力と活気のある都心部を創ることで、まち全体の活性化につなげていきたいと考えています。

### 1 既存車両と新型低床車両の比較

項目	既存車両 (8500 形)	新型低床車両 (A1200 形)
車体数・台車構成	単車・2 台車	3 車体連接・2 台車
車体寸法	最大寸法 : 13000 mm (長さ) × 2230 mm (幅) × 3815 mm (高さ)	最大寸法 : 16980 mm (長さ) × 2300 mm (幅) × 3800 mm (高さ)
定員	62 人 (座席定員: 34 人)	71 人 (座席定員: 27 人)
車内高さ (最大)	2200 mm	2260 mm
出入口部の床面高さ	850 mm	350 mm
乗降口幅 (最低有効幅)	790 mm	900 mm
冷房装置	なし	あり
車椅子スペース	なし	あり
車外行先表示器	幕式 (正面、側面)	LED 式 (正面、側面)

### 2 導入により期待される効果

- (1) 高齢者をはじめ多くの利用者にとって乗り降りがしやすくなるなどの利便性の向上
- (2) 定員の増加による車内混雑の緩和や、冷房機設置等の機能性の充実による快適性の向上
- (3) 魅力的なデザインや利便性の向上による、市民や観光客の新規需要の創出

### 3 今後のスケジュール（予定）

- ・ 3月18日(月) 電車事業所へ搬入
- ・ 3月19日(火)～28日(木) メーカーによる確認試験
- ・ 3月29日(金) メーカーからの引き渡し
- ・ 3月30日(土) 報道機関向け内覧会
- ・ 4月中 習熟運転を含めた運行開始準備
- ・ 5月上旬 デビューイベント、運行開始

< 新型低床車両の写真 >

#### 【外装】



#### 【内装】



問い合わせ先

市民まちづくり局総合交通計画部（路面電車担当） 電話：211-2492

吉江・修理（交通局高速電車部調整担当課兼務）